



接続期カリキュラムは、それぞれの5歳児、1年生の姿から年度ごとに作成することが大切です。ここに挙げているカリキュラムモデルは、様式を含め、あくまでも一例です。子どもの学びと育ちに関して就学前教職員と小学校教職員が情報交換を行うことはカリキュラムの作成、実施の基本です。併せて、各校種においてカリキュラムの目的・内容・方法等について共通理解を図ることも行いましょう。

接続期カリキュラムモデルプラン

5歳児 1月～3月		小学校 1年生 4月～6月	
	育って欲しい姿		育って欲しい姿
健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> 決まった時間に就寝、起床し、朝ごはんを食べるなどの生活リズムを整える。 先生や友だちと一緒に食べることを楽しむ。 	生活する力	<ul style="list-style-type: none"> 早寝早起き、朝ごはん、排便などの生活リズムをつける。 しっかり体を動かし、おいしく食事とることができる。 授業に必要なものを考え準備したり、机上を整えたりする。 時間の区切りを知り、チャイムを意識して行動する。
自立心	<ul style="list-style-type: none"> 一日の活動のおおまかな見通しをもち、片付けの時間を意識して過ごす。 		<ul style="list-style-type: none"> 新しい友だちや先生と出会い、関心をもって自分から意欲的に関わりをもとうとする。
協同性	<ul style="list-style-type: none"> 同じ目的をもって、友だちとやりとりをしながら一緒に活動を進めることを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> 順番やきまりを守ることができるようにする。 交通ルールを守って登下校する。
道徳性・規範意識の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと心地よく過ごし、楽しくするためのきまりがあることがわかる。 	人と関わる力	<ul style="list-style-type: none"> 地域や学校などで出会った人に自分から挨拶をする。 登下校の際、地域の人やPTAの人が見守ってくれていることを知り、安心感を感じる。
社会生活との関わり	<ul style="list-style-type: none"> 先生や友だち、園生活で出会う地域の人や親しい人に元気に挨拶をする。 園の周りに公園や施設などがあること知る。 		<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境や教科の学習に興味・関心をもつ。 様々な人との関わりなどから刺激を受け、人間関係を深める。
思考力の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな素材や用具に親しみ、工夫したり試行錯誤したりして遊ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> 学校の動植物に親しみをもって世話をし、身近な自然に自分から触れ、美しさ、不思議さ、変化等を感じ、関心をもつ。
自然との関わり・生命尊重	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然と触れ合う活動を重ね、季節の移り変わりを知る。 	学びに向かう力	<ul style="list-style-type: none"> 自分の名前が読めたり、書けたりする喜びを感じる。 健康診断や学校探検等に行く為に、自分の出席番号や並ぶ順番が分かる。
数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で数量や図形、文字などに触れ、興味をもって遊びに取り入れる。 		<ul style="list-style-type: none"> 嬉しいこと、困っていることやしてほしいことを、自分から言葉で伝えられるようにする。
言葉による伝え合い	<ul style="list-style-type: none"> 先生の話や友だちの気持ちを聞いたり、自分の気持ちを言葉で相手に伝えたりする。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを描いたりつくったりすることで、自信をもつてのびのびと表現する。
豊かな感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や物語などからイメージを広げ自分なりに表現することを楽しむ。 		

② 枠を作り①で挙げた姿となるよう行う活動を記入。

カリキュラム作成手順例

② 枠を作り①で挙げた姿となるよう行う活動(合科的な)を記入。

③ 更に枠を作り②の活動の為の環境構成や援助を記入。

① その年度の子どもに育ってほしい姿や、つけたい力を記入。

③ 更に枠を作り②の活動の為の環境構成や留意点を記入。

《学びの芽生え アプローチ期》

それぞれの幼稚園、保育所、こども園で幼児の実態や特性は異なります。課題の改善や克服を考えながら、その年度のカリキュラムを立てることが必要です。また、その時に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識することで、小学校での学びにバランスよくつなげることが可能だと考えられます。

《自覚的な学び スタート期》

幼児期に育った学びの芽を小学校の学習につなぐことができるよう心がけ、生活科を中心に合科的な学習から徐々に各教科の指導へ移行していくようにしましょう。また、国語や算数等の教科の学習において、授業の中に遊びの要素や身体活動、絵本等の教材を取り入れるなど学習の工夫をすることが、児童の興味・関心を高めることに効果的といえます。

つながる のびる
共に育ち合う子をめざして



幼児期の教育と小学校教育の育ちをつなぐ幼小接続事業



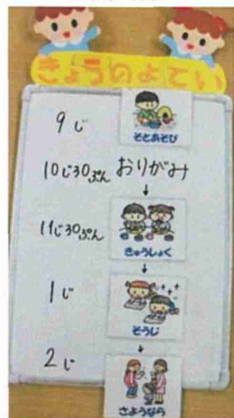
大和高田市教育委員会

高田っこ！ スムーズな接続の為に

安心できる環境づくり

就学前に保育室で見慣れてきた環境の工夫が、入学後の教室でも行われることで、子どもたちは安心して小学校生活をスムーズにスタートすることができます。

就学前



1日の見通しがもてるように時刻と活動の絵カードを活用しています。

できる！わかる！環境づくり

1年生入学後、イラストと文字表記を見て、朝の準備などを自分で出来るようにしています。

小学校



*小学校で帰りの用意をする際、音楽を流し、その間に準備を完了できるような工夫をしている学級もあります！



赤色の針の位置に時計の針がきたら10時なので終わりね。



赤色が無くなったら終わりだよ。

終了時刻や残り時間を掲示することで、時間の見通しがもてるような環境の工夫がされています。

教室の後ろにスペースをとり、絵本の読み聞かせができる環境をつくっています。就学前の時のように床に座っての活動に、子どもたちは親しみを感じ、安心します。そのことが次の活動への切り替えや集中力の高まりにつながります。



学びをつなぐためには子どもたち（教職員）の交流、教職員の研修等が不可欠です。その為にも管理職のリーダーシップの下、5歳児・1年生の担任だけでなく、校内組織を立ち上げるなど学校・園全体で幼小接続を行うことが効果的です。

たてとよこのつながり

～就学前児と児童とのたての交流～

交流をもつことで、就学前児が児童や小学校教職員、施設に慣れることは小学校入学への不安を減らし、子どもたちが学校生活を楽しく過ごせることにつながります。

お兄ちゃん力持ち！大好き。



犬が折りたい。

こうしたら犬の顔になるよ。どうかな。



上手にできたね。

就学前児の思いを聞きながら一緒に遊びや折り紙を進める小学生。頼られて自己有用感が高まる瞬間です。

～幼稚園と保育所などとのよこの交流～

幼稚園・保育所・こども園が交流をもち、子どもたちが活動を重ねることで一緒に夢になって遊び、関わりを深め同じ5歳児として互いに親しみをもつ姿となります。職員にとっても互いの事をよく知る機会につながっていきます。



それぞれの子ども達にとって活躍の場となったり、互いのことを知ったりするために、どちらかの施設だけでなく、互いの施設で交流することが望ましいです。

～たてとよこの交流～

小学校で小・園・所が交流することで就学前児は、共に入学する期待や1年生へのあこがれを高め、1年生には小学校の中では最年少の自分たちが、頼りにされ活躍できる場となり、たて、よこのつながりが生まれるなど、たくさんの利点があります。



交流する校種が増えるので、日程調整が難しくなりがちです。年度初めに日程を決めておくことがスムーズな交流のカギです。また事前事後の打ち合わせを十分に行うことが、互いの育ちを知るために大切です。

交流内容・方法の工夫

交流をもつとなると、日程調整や交流内容の検討など必要最小限しなくてはならないことが出てきます。そこでコンパクトな幼小接続を考え、行事や授業を上手く活用し、交流内容や方法を工夫することが、継続のカギとなります。

行事の活用

子どもをつなぐ

運動会

プログラム（幼小合同運動会）に園児と1年生で参加する競技をつくることで一緒に練習する機会が増え、小学校教職員が5歳児の育ちをよりよく知ることもつながります。



小学校の運動会を応援に行くことで、行事の雰囲気味わうことができ、小学校生活へのあこがれや期待を高めることにつながります。

家庭をつなぐ

学級懇談会・講演会



分からないことがいっぱい・・・

3学期の就学前施設の学級懇談会で同じクラスの先輩ママの話の話を聞きました。第1子の保護者と小学生の子どもをもつ保護者がペアになり、今後通うことになる小学校の1年生4月の学年便りを見ながら話を聞き、会を進めました。

まかせて。これは・・・

就学前施設の講演会に校区の小学校長に来ていただき、入学前後に身に付けること、経験しておいてほしいことや保護者が配慮すべきことを教えていただきました。入学先の小学校長の顔を知り、声を掛けてもらうことで、保護者が小学校への親しみや入学への安心感を得ることができました。



小学校の授業の活用

教職員をつなぐ



子どもたちが分からないことを小学校へ尋ねに行くことで交流を図ります。就学前教職員が各学年の指導内容や小学校教職員の得意分野を知っておくことが、コンパクトな交流につながります。